

議事録

1 開会行事 進行：横川 Co

- (1) 中央学園学校長あいさつ（東郷事務局校：牛島校長） 昨年度は学園スローガン「進んで みんなと 最後まで」熟議を通し、サポート隊をはじめ、連携・融合が深まっている。さらに持続可能な活動に。
- (2) 宗像市教育委員会あいさつ（高宮教育長）昨年度は、市全体の手本となる活動が発表された。
本学園のよさ＝運営と保護者の仲のよさ。よいことを自ら、という風土。中学生ボランティアの存在。
- (3) 宗像市学園運営協議会規則及び中央学園運営協議会運営要領の確認（横川 Co）
- (4) 委嘱状交付
- (5) 委員紹介
- (6) 会長（水田さん） 副会長（井浦さん）選出
- (7) 日程説明（横川 Co）

2 説明

- (1) 前回議事録の確認（横川 Co）
- (2) 本年度の学園方針の確認→重点目標には「ふるさとを愛する」という心の育成を追加。
すべての大人子どもが分かるようにスローガン設定。『ふるさとを愛し 進んで みんなで 最後まで』
- (3) 中央学園ランドデザイン→ひとめで見てわかるような『素案』である。今年度内に完成形を目指すもの。
- (4) 質疑応答 なし
- (5) 学園運営協議会年間計画→7月12月はモニター会。（各学校を参観後、中央中学校に）14時～17時。
- (6) その他 詳細はメールでお知らせを。

年度のまとめ・来年度に向けては、最終ではなく途中の段階で提案していただきたい。

3 熟議 「ふるさとを愛する子どもを育てるための具体策」

〈家庭〉

キーワードは 大人とこどものかかわり

小さいときに大人が楽しんでいる様子を見ること。隣近所を含めて家族と思うこと。経済活動や社会体育などを通じた親同士のつながり。地域の祭りなどにガツンとくるような思い出・つながりが大事。大人が、よいかかわりをしながら「ふるさとっていいな」という気持ちを育てていく。

〈地域〉

「今のものを継続していだけでよい。大人の姿、かかわり方がお手本であり環境である」

行事・イベントの経験は楽しさ、思い出だけでなく、徐々に「責任を持つ経験」につなげていく。体育祭にボランティアとして参加する高校生のように、現役生がよいモデルとなって、中学生にも任せてみる部分をひろげるなど、遊ぶ・楽しむだけでなく、貢献や誇りが生まれるような体験が、長い目で見た地域愛を育む。

大人は子どもに「参加してもらおう」ではなく、子どもが参加したくなる工夫をしかけ、その場で大人が地域のよさや価値を示していく。

4 閉会行事 進行：横川 Co

- (1) 学園運営協議会副会長あいさつ（井浦さん）サポート隊の活動で出会った生徒・児童の望ましい姿。お礼を言う姿や転んでも立ち上がっていきいきと活動する姿。これが今の中央学園。
 - (2) 中央学園学校長あいさつ（中央中：竹原校長）熟議を振り返って。体育祭の生徒会長の言葉。大人のかかわり、周囲の拍手。長いスパンで心ひとつに、子どもたちの笑顔を守りつなげ、広げていく。
- ・その他 運営協議会委員の地域の有識者数を、南郷東郷そろえた方がよい。肩書も統一感のあるものに。